

教員名	嘉瀬井恵子	所属学科	観光政策学科
【ゼミでは何を学ぶのか】 こんにち、人口減少、過疎高齢化、教育格差、ジェンダーをはじめ社会は変容し、また、様々な分野でパラダイムの転換の必要性が叫ばれ、その萌芽ともいえるべき試みや活動がはじまっています。このような時代において、本ゼミでは「人のふるまい」と「社会のしくみ」について考えていきます。地域社会における様々な課題や、当たり前だと思われている事象をデザインの視点から捉え、理論と実践の両面から研究すると共に、自ら実装し、学問の意義や価値を学びます。			
【どのように学ぶのか】 具体的な進め方はゼミ生と相談して決定しますが、おおむね以下のスケジュールを想定しています。 【2年次後半から3年次前半】 ・ 輪読などを通じ、地域社会の現状把握、基礎理論、調査手法、アプローチ法などを学びます。 ・ 毎回、報告とディスカッションを行います。 ・ 輪読本や論文を読み、研究における自分なりの「問い」を立て、さらに「問い」から導き出した知見を発表する方法を学ぶことが目標です。 【3年次後半】 ・ 課題解決型に調査研究を行います。興味のあるテーマに合わせたグループごとに研究計画をたて、実際に調査・分析を行います。 ・ フィールド調査や文献調査の基礎を身につけること、身近な課題や、当たり前だと思っていることへの問題意識を見過ごすことなく、自ら考え、論理的整理をする力を養うことを目標とします。 ・ ディスカッションを通じて、多面的分析力の向上を目標とします。 【4年次】 ・ これまで学んできた研究や実装を基礎にして、卒業論文に必要な先行研究を精読し、各自関心の深いテーマを設定し、卒業研究に取り組みます。 ・ 調査研究方法や技能を学習し、研究計画を立て、研究発表を行います。 ・ 卒業論文に際して必要な研究倫理を身につけることを目標とします。			
【学んだことはどのように生かせるのか】 本ゼミで扱うデザイン思考は、極めてこんにち的な知的理論の一つであり、実学に大変、近い存在です。AIによる代替が困難であり、先行き不透明な現代においては広い創造力を要します。本質を見極め、判断し、表現しながら、未来社会を創造する力として生かすことが可能です。また、プレゼンテーションやディスカッションを通じて他者理解の機会とし、研究成果などは就職活動に役立てて欲しいと期待します。			

【おすすめの入門書・基本テキスト】

細谷功「具体と抽象—世界が変わって見える知性のしくみ」 dZERO, 2014

【まだ見ぬ君へのメッセージ】

高校までの「与えられた問題の解法を学ぶ」ことから、大学での「学問」の習得を目指していきます。「学問」とは、自分の知らないことを自ら学んで次第に知識を増幅させ、新たな知見を創出していく行為を指します。地域や社会のことを見つめ直し、おおいに自問自答してみましょう。そして、地域社会を創造していきましょう。